

## 「初歩的なミス」と社員をなでいき「処分」 で乗り切りをはかる会社を許すな！

JR東海松本社長は、2月15日の定例会見で「初歩的ミス」として陳謝して、「現場作業員への技術指導や規律意識を高める訓練を徹底する」（日経新聞）と表明しています。

この松本社長の発言は、「規律と忠誠心」「命令と服従」の強権的な労務管理をより徹底するということであり、社員がミスをした場合は、見せしめ長期日勤と過酷な処分を行うということの別表現です。

さらに、記者より「JRのミスが原因らしいことがわかっているにもかかわらず、車内では沿線の火災により架線が切れたという放送が流れ、結局JRは何か責任逃れをしているんじゃないかという印象を植え付けた。JRのミスでありごめんなさいとか申し訳ありませんの一言が聞かれませんでした。事故のときに情報が名古屋では全くわからなかった」と指摘されています。これは、かのJR福知山線事故の脱線の原因で、いち早くJR西日本が「置き石の可能性」を言及したなど事故を隠し奔走した構図と全く一緒の事態です。

### 事故当日、会社はのうのうと社長交代の記者会見

記者会見でも危機管理の側から指摘されていますが、記者より事故当日「当日社長交代の記者会見がありました、このような大きな事故だと言うように認識されたのはどの時点だったんでしょうか」の質問に松本社長は「一報は入っていました」と、一報を聞いているにもかかわらず社長交代会見をやったということです。まずは、事故の把握と乗客にケガ人がいないか沿線住民は大丈夫だったのかが問はれたのではないのでしょうか！  
なんともお粗末！！

### 関係社員・管理者の過酷な処分で済ませ会社を許さず闘おう！

今だ、当該社員は本来業務から外され見せしめ懲罰的な「長期日勤」が続いています。しかも、2月15日から当該社員は職場に姿を現していません。異常な事態です。さらに、二重の処分としての過酷な「処分」がされることがまことしやかに噂されています。  
検修職場で働く社員の皆さんに訴えます。いつ自らが該当の社員にされるかわかりません。当該社員は、事故の大きさを自覚し自ら反省を報告し対策を立てています。これ以上、何を反省しろというのでしょうか！生産性のない長期日勤をさせる理由がどこにあるのでしょうか。

JR東海労は過酷な「処分」を許さず、早期に本来業務に戻すことを求めて闘います！！